

確認申請書 第二号様式 (第四面) 建築物別概要 別紙 - その1(住宅用)
[8. 建築設備の種類]

住戸タイプ		住戸番号													
居室ごとの機械換気設備	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階
	室名														
	床面積(m ²)														
	天井高さ(m)														
	気積(m ³)														
	換気種別	第1種換気設備				第2種換気設備				第3種換気設備					
	給気量(m ³ /h)														
	排気量(m ³ /h)														
	床面積合計(m ²)	気積合計(m ³)		給気量合計(m ³ /h)		排気量合計(m ³ /h)		換気回数(n)							
	天井裏等への措置	クロゼット内部													
使用材料															
キッチンセット内部															
使用材料															
使用材料															
使用材料															
使用材料															
使用材料															
使用材料															
外壁の措置												使用材料(特定建材)種別			
間仕切壁1の措置												使用材料(特定建材)種別			
間仕切壁2の措置												使用材料(特定建材)種別			
小屋(天井)裏の措置												使用材料(特定建材)種別			
中間階天井(床裏)内措置												使用材料(特定建材)種別			
最下階床裏の措置												使用材料(特定建材)種別			
品確法自己評価等級(天井裏等)	3		2												

記入上の注意(換気するエリアが2以上になる場合は換気エリアごとに別紙にて作成して下さい)

- ・「住戸タイプ」「住戸番号」は共同住宅の場合のみ記入して下さい。
- ・「階」は同一の機械換気システムを利用する室が複数の階にある場合にのみ記入して下さい。
- ・室名 は同一の機械換気システムを利用するすべての室名を記入して下さい。
- ・天井裏等への措置はその部位名(収納スペース等)を記載し、「建材の種類」又は「換気の措置」を下記の四つの中から選択し記号を記載して下さい。
- ・品確法の住宅性能表示の申請をする場合は使用材料の種類を下記の材料種別の中から選択し記号で記入して下さい。(複数の記入は可)
- ・品確法の住宅性能表示の申請をする場合は自己評価等級を記入して下さい。(使用している建材の中の最低の等級を記載して下さい)

・天井裏等への措置(キッチンセット内部、収納スペース内部、物置内部等を含む)

イ：規制対象外建材を使用(F) □：第3種建材を使用(F) ハ：気密層又は通気止め措置 ニ：天井裏等を機械換気(居室より負圧)

・建築材料の種類(R、Sは品確法対応の分類項目)

- A：合板 B：木質系フローリング C：構造用パネル D：集成材 E：単板積層材 F：MDF G：パーティクルボード
H：その他の木質建材 I：ウリア樹脂板 J：壁紙 K：接着剤(2次加工、現場施工) L：保温材 M：緩衝材 N：断熱材
O：塗料(現場施工) P：仕上塗材(現場施工) Q：接着剤(現場施工) R：製材等【品確法】 S：その他【品確法】
K 接着剤：壁紙用でん粉系接着剤及びホルムアルデヒド水溶液を用いた建具用でん粉系、ウリア樹脂系接着剤
Q 接着剤：ウリア樹脂等を用いた酢酸ビニル系溶剤形、ゴム系溶剤形、ビニル共重合樹脂系溶剤形及び再生ゴム系溶剤形接着剤

確認申請書 別記二号様式の添付図書(表1(に))の使用建築材料表 その1(住宅用)
 使用建築材料表(住宅等の居室に使用されるホルムアルデヒド発散建築材料(特定建材))

住戸タイプ名	室名 (階)	内装の仕上げ の部分	使用 材料(特 定建材)	ホルムアル デヒド建 材種別	使用面 積(m ²)	面積 係数	使用面 積小計 (m ²)	使用面 積合計 (m ²)	床面積 合計 (m ²)	判定	自己評 価等級 (品確法)	
住戸番号 ・クロルピリホスの使用 有り 無し ・ホルムアルデヒドを発散 する建材の面積制限が 適用されない場合 居室に中央管理方式 の空調設備を設置 居室が大臣認定を受 けたもの(令20条の7) 居室の内装に第1種・第2 種・第3種建築材料を使用 しないもの(規制対象外建 築材料のみ使用) ・換気設備の換気回数を 選択してください 0.7回/h以上 0.5回/h以上 ・ホルムアルデヒド建材種別 の記号を表中に記入して 下さい - : 規制対象外 3 : 第3種建材 2 : 第2種建材 A : 合板 B : 木質系フローリング C : 構造用パネル D : 集成材 E : 単板積層材 F : MDF G : パーティクルボード H : その他の木質建材 I : Uリア樹脂板 J : 壁紙 K : 接着剤 (2次加工、現場施工) L : 保温材 M : 緩衝材 N : 断熱材 O : 塗料(現場施工) P : 仕上塗材(現場施工) Q : 接着剤(現場施工) R : 製材等【品確法】 S : その他【品確法】 注) K、Qの接着剤の種別 は前ページ注記による	階	天井		種							3	
	面積	壁		種								
		床		種								2
		建具		種								
		階	天井		種						1	
	面積	壁		種								
		床		種								
		建具		種								
		階	天井		種							
	面積	壁		種								
		床		種								
		建具		種								
		階	天井		種							
	面積	壁		種								
		床		種								
		建具		種								
		階	天井		種							
	面積	壁		種								
		床		種								
		建具		種								
	階	天井		種								
面積	壁		種									
	床		種									
	建具		種									
	階	天井		種								
面積	壁		種									
	床		種									
	建具		種									
	階	天井		種								
面積	壁		種									
	床		種									
	建具		種									
	階	天井		種								
面積	壁		種									
	床		種									
	建具		種									

機械換気設備の概要 (住宅用) -

住戸タイプ	A		住戸番号	101、201、301													
居室ごとの機械換気設備	階	1	階	1	階	1	階	1	階	1	階	1	階	1	階	1	階
	室名	LD	台所	洋室1	洋室2	和室	廊下・玄関	洗面・脱衣	便所	浴室							
	床面積 (㎡)	20.00	6.00	15.00	10.00	9.50	7.00	3.00	1.50	2.50							
	天井高さ (m)	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.20	2.20	2.20	2.10							
	気積 (m ³)	48.00	14.40	36.00	24.00	22.80	15.40	6.60	3.30	5.25							
	換気種別	第1種換気設備			第2種換気設備			第3種換気設備									
	給気量 (m ³ /h)	15.00	35.00	15.00	15.00	15.00											
	排気機による排気量 (m ³ /h)								35.00	35.00	25.00						
	床面積合計 (㎡)	74.50	気積合計 (m ³)	175.75	給気量合計 (m ³ /h)	95.00	排気量合計 (m ³ /h)	95.00	換気回数 (n)	0.54							
	天井裏等への措置	クロゼット内部	□	□		□											
使用材料		G,K	G,K		G,K												
キッチンセット内部			□														
使用材料			G,K														
押入内部						□											
使用材料						A,S											
下足入れ内部							□										
使用材料							F,K										
ウォークインクローゼット				□													
使用材料				S,Q,J													
物入れ内部								□	□								
使用材料								A	A								
使用材料																	
外壁の措置		イ								使用材料(特定建材)種別	N						
間仕切壁1の措置		イ								使用材料(特定建材)種別	S						
間仕切壁2の措置									使用材料(特定建材)種別								
小屋(天井)裏の措置	□								使用材料(特定建材)種別	S,N							
中間階天井(床裏)内措置									使用材料(特定建材)種別								
最下階床裏の措置	□								使用材料(特定建材)種別	G,B,Q							
									使用材料(特定建材)種別								
品確法自己評価等級 (天井裏等)	3		2														

記入上の注意 (換気するエリアが2以上になる場合は換気エリアごとに別紙にて作成して下さい)

- : 「住戸タイプ」「住戸番号」は共同住宅の場合のみ記入して下さい。
- : 「階」は同一の機械換気システムを利用する室が複数の階にある場合のみ記入して下さい。
- : 室名 は同一の機械換気システムを利用するすべての室名を記入して下さい。
- : 天井裏等への措置はその部位名(収納スペース等)を記載し、「建材の種類」又は「換気の措置」を下記の四つの中から選択し記号を記載して下さい。
- : **品確法の住宅性能表示の申請をする場合は**使用材料の種類を下記の材料種別の中から選択し記号で記入して下さい。(複数の記入は可)
- : **品確法の住宅性能表示の申請をする場合は**自己評価等級を記入して下さい。(使用している建材の中の最低の等級を記載して下さい)

・天井裏等への措置(キッチンセット内部、収納スペース内部、物置内部等を含む)

イ : 規制対象外建材を使用(F) □ : 第3種建材を使用(F) Ⅷ : 気密層又は通気止め措置 Ⅱ : 天井裏等を機械換気(居室より負圧)

・建築材料の種類 (R、Sは品確法対応の分類項目)

- A : 合板 B : 木質系フローリング C : 構造用パネル D : 集成材 E : 単板積層材 F : MDF G : パーティクルボード
H : その他の木質建材 I : ユリア樹脂板 J : 壁紙 K : 接着剤(2次加工、現場施工) L : 保温材 M : 緩衝材 N : 断熱材
O : 塗料(現場施工) P : 仕上塗材(現場施工) Q : 接着剤(現場施工) R : 製材等【品確法】 S : その他【品確法】
K 接着剤: 壁紙用でん粉系接着剤及びホルムアルデヒド水溶液を用いた建具用でん粉系、ユリア樹脂系接着剤
Q 接着剤: ユリア樹脂等を用いた酢酸ビニル系溶剤形、ゴム系溶剤形、ビニル共重合樹脂系溶剤形及び再生ゴム系溶剤形接着剤

